

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長 小関 雅彦	
健福-56	各種スポーツ行事事業	☒ 自治事務	主管課	スポーツ課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	4-(6) スポーツ・レクリエーション	施策の方針	4-(6)-①スポーツ・レクリエーションの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	身近なところで、自主的に、気軽に楽しむことができるスポーツの振興を図るとともに、指導者の養成と資質向上を図るため
効果	市民のスポーツ・レクリエーションの推進やスポーツ・レクリエーション活動の支援を図る

2 令和5年(2023年)度実施した事業の概要

・市民向けのスポーツ行事を開催するとともに、スポーツ指導者の育成などを行い、地域に根ざすスポーツの促進を図った。
・市民の体力づくりや健康の増進、地域コミュニティの活性化を図った。
・鎌倉における海の魅力を発信するため、セーリングやサーフィンをはじめとした様々なマリンスポーツの普及・促進を図った。
・障害者スポーツの普及・促進を図った。
・ジュニアアスリート等の育成・支援や市民の競技力向上を図った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	スポーツ行事開催事業	各種スポーツ事業委託	参加人数(人)	37,120人 /	30,000人	35,000	123.8%
				7,608 /	8,739	8,767	
02	ジュニアアスリート育成事業	トップアスリートとの交流事業 (参加人数)	参加人数(人)	1,142人 /	1,100人	1,100	103.9%
				1,161 /	1,524	1,417	
03	一般事務経費	消耗品	—	— /	—	—	
				210 /	330	551	
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	0 /		0	
			一般財源	8,979 /		10,593	
		事業費の合計(千円)		8,979 /		10,593	
		人件費(千円)				8,316	12,510

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	
会計年度任用職員	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	スポーツ行事開催事業	新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、地区スポーツ・レクリエーション活動はコロナ禍前の状況に戻りつつあり、参加者数も増加傾向にある。	地域でスポーツ活動に気軽に参加することで、市民のスポーツ実施率の向上につながる。	スポーツイベントに誰もが気軽に参加できる環境を整えるとともに、参加したくなるような企画を検討していく必要がある。
02	ジュニアアスリート育成事業	一部の教室が中止となったが、実施した教室はチラシ配付等の周知を行い、利用者は増加した。	幼少期から競技スポーツに親しむことや、鎌倉ゆかりのトップアスリートと交流することで、アスリートとしてのきっかけ作りや競技力向上に寄与した。	競技力の向上に資するため、競技団体との連携を強化し、更なる充実を図っていく必要がある。
03	一般事務経費	消耗品等共通的な経費で指標の設定に適さない。		

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
			協働実施済の場合のパートナー スポーツ協会・レクリエーション協会・スポーツ推進委員連絡協議会・地区スポーツ振興会・マリンスポーツ連盟・湘南ベルマーレ・徳洲会体操クラブ

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
・市民のスポーツ実施率の向上や健康維持・増進を目的として、市民のニーズ把握に努め、各種教室やイベントの充実を図る。 ・身近なところで気軽にスポーツが実施できるよう地域スポーツの振興を図る。 ・東京オリンピック・パラリンピックの開催により高まった市民のスポーツへの興味を維持するとともに、ジュニア世代を対象に教室を開催し市民の競技力向上を図る。 ・障がい者スポーツに対する理解を深め、あらゆる市民がスポーツに親しめる環境を提供する。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	ジュニアアスリート育成事業参加人数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
幼少期から競技スポーツに親しむことで、アスリートとしてのきっかけ作りに寄与する	目標値	300.0	300.0	300.0	1,100.0	1,100		
	実績値	0.0	306.0	1,005.0	1,142			
	達成率	0.0%	102.0%	335.0%	103.8%			

指標(単位)	地区スポーツ振興会協議会スポーツ行事参加人数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
地区スポーツ・レクリエーション活動の活性化の状況を把握するため	目標値	60,000.0	60,000.0	60,000.0	30,000.0	30,000.0		
	実績値	759.0	11,404.0	23,870.0	32,015.0			
	達成率	1.2%	19.0%	39.8%	106.7%			

